

名工大 起業家の「タマゴ」発掘へ

名古屋工業大学は、
ベンチャー精神おうえ
し、学生起業家の育成

に力を注いでいる。起

業家のタマ

ゴを発掘す

るための

「学生アイ

デアコンテ

スト」を再

開、全学的

なバックア

ップ体制も

強化した。

03年度に再開した学生
アイデアコンテスト



産業界で活躍する即戦
力を輩出し、工科系単
科大学としての存在感

アイデアコンテスト再開

即戦力の人材育成

を高める狙いだ。

名工大は97年に「ベ

ンチャー・ビジネス・

ラボラトリー」(VBL)

を設置。起業を前

提とした研究プロジェ

クトへの助成などに取

り組んできた。学生ア
イデアコンテストもこ
の一環で、01年度に初

開催したが、02年度は

実施しなかった。

しかし法人化に伴う

競争力強化のため03年

度に再開。7件の応募

の中から最優秀賞を受

賞した工学研究科博士

後期課程の打田正樹さ

んのアイデア「発電機

能付きマンホールのふ

た」は自動車が走る時
の振動を利用して発電
するというもので、特

許出願を準備中だ。

VBL長の小野徹郎

教授は「以前はソフト

ウエア開発が多かった

が、最近になりハード

ウエア関連のアイデア

が目立つ。モノづくり

を担う人材育成という

本来の目的に近づいて

きた」と手こたえを感

じており、04年度も同

コンテストを実施する

考えた。

(名古屋)